

F-REIの最近の動き (2024年12月)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き
(2024年4月～)」から2024年12月分を浪江町役場で抜粋し
ております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

令和6年12月2日（月） 副分野長（放射線科学・創薬医療分野）の決定

12月2日、分野長・副分野長に就任している11名に加え、新たに、放射線科学・創薬医療分野において専門的知見を有する外部の研究者1名に副分野長に就任いただくことといたしました。

放射線科学
・ 創薬医療



【副分野長】 絹谷 清剛（きぬや せいご）
金沢大学 副学長

令和6年12月10日（火） 出前講義の実施（獨協医科大学）

12月10日、獨協医科大学で、医学部1年生約130名に出前講義を実施しました。

大和田執行役が講師を務め、「F-REIによる福島復興への取り組み」と題してF-REIの取り組みやご自身の専門分野を紹介され、「ぜひF-REIの研究者を目指してほしい」と学生に話されていました。



令和6年12月18日（水） F-REI市町村座談会の開催（浜通り地域等・ロボット分野）

12月18日、F-REI市町村座談会（浜通り地域等・ロボット分野）を南相馬市で開催しました。

本座談会は、研究開発・産業化・人材育成の取組における広域連携体制の構築を図るため、市町村や住民、企業・団体等、多様な主体と対話する場として開催するもので、今回はF-REIの研究開発分野の1つである「ロボット分野」を取り上げました。

座談会では、前半にF-REIのロボット分野における研究開発事業について報告を行い、後半のパネルディスカッションでは、浜通り地域等の企業、団体等を代表する方々に御登壇いただき「遠隔操作」「災害対応ロボット」「ドローン」の3つのテーマに分けて活発な議論が行われました。



令和6年12月24日（火）、25日（水） ふくしま未来創造プログラムの開催

12月24日、25日、会津大学とF-REIは、浪江町などの自治体や事業者等と連携し、復興の現状を学ぶとともに福島の一層の発展につながるアイデアについて考える人材育成事業「ふくしま未来創造プログラム」を開催しました。

12か国・地域からの留学生を含む、県内の大学生・院生、高専生、高校生の51名が参加しました。

国内外で活躍できる人材を育成するため、基本的なコミュニケーションは全て英語で行いました。また、異なる年代や国籍の参加者が協力して学ぶことで、多角的な視点と国際的な理解を深める機会となりました。

参加者は、F-REIの山崎理事長による英語での特別講義をはじめ、浜通りの視察やフィールドワーク、ワークショップなどを通じて、「ふくしまの未来のために何ができるか」を議論し発表しました。検討した内容は、今後、参加者がSNSなどを使って世界へ情報発信していく予定です。



世界に冠たる 「創造的復興の中核拠点」へ